

第6学年 家庭科

松阪市立第四小学校



【学習目標】

- 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要で基礎的なことを理解し、それらに係る技能を身に付ける。
- 日常生活の中から問題を見つけ出し、課題を設定し、様々な解決方法を考え、表現することができる。また、その実践を評価、改善するなどの課題解決力をつける。
- 家庭生活を大切にすることをもち、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくするための工夫をしようとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「わたしたちの家庭科」 (開隆堂)

持ち物

教科書 ファイル 裁縫セット
筆箱 下敷き タブレット

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝えあいましょう。
- ワークシートは、学習内容、気づいたこと、これからの生活に取り入れたいことなどを工夫して書きましょう。
- 安全に気を付けて作業しましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

ぜん 期 前	こう 期 後
<p>1. 生活時間をマネジメント</p> <p>2. できることを増やしてクッキング</p> <p>3. クリーン作戦で快適に</p> <p>4. 衣服の手入れで快適に</p> <p>5. すずしい住まい方で快適に</p>	<p>6. ソーイングで生活を豊かに</p> <p>7. こんだてを工夫して</p> <p>8. 共に生きる地域での生活</p> <p>9. 持続可能な社会のために</p> <p>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。</p>

ひょうか かんてん ぼめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点	ひょうか ぼめん ほうほう 評価の場面・方法
<p>知識・技能 日常生活に必要な基礎的なことについて理解し、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子(エプロン作成や調理実習など) 単元テスト</p>
<p>思考・表現 日常生活の中から課題を見つけ、様々な解決方法を考え、実践するなど、課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子(エプロン作成や調理実習など) 単元テスト 振り返り</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の人々との関わりを考え、生活をよりよくしようと工夫、実践している。</p>	<p>発言・発表 授業の様子エプロン作成や調理実習など) 振り返り</p>